

■部会名：環境・文化部会

■部会長（有識者委員）：押谷 一 委員

■市民委員：草野 靖広 委員、齊藤 良枝 委員、高儀 武志 委員、内藤 祐貴 委員、
中野 和代 委員、野戸谷 睦 委員、山田 明美 委員

■概要

1 全体の進め方と提言書（たたき台）部会長報告について

押谷部会長：本日が部会としての最終日なので、しっかりとまとめていきたい。前回の部会で皆さんに見ていただいた提言書のたたき台に私が赤字で修正したものを、先週の金曜日に市から皆さんへ郵送していただいたので、これを使って本日の部会を進めたい。なお、部会が終了した後は、部会長が集まって全体の調整を行い、その後全体会議を開催することになる。

環境・文化部会では、4つの戦略テーマを設定した。まず、「部会長報告」の部分は、環境に関する定義について前回ご指摘をいただいたので、その部分を強調して文章をつくり直した。私の署名で作成してあるが、後で読んでいただいて、どうしてもおかしい部分があれば、ご連絡いただきたい。

また、「まちづくり政策提言」については、マトリックス全体の意見を整理したものである。戦略テーマ全体を議論した後に、この部分についてご意見をいただきたい。

2 戦略テーマ：「環境と共生し、エネルギーの地産地消を目指すまち」の提言内容の検討

押谷部会長：まず、戦略テーマ『環境と共生し、エネルギーの地産地消を目指すまち』についてご意見をいただきたい。

○ 「どんな状態にしたいのか」の部分で、前回話し合った数値目標の設定を含めて検討するという部分を盛り込んでもらえたら良いと思う。具体的には、「太陽光、風力等の自然エネルギーの利用を積極的に促進」の後に、「数値目標設定を含め検討する」と入れていただきたい。何らかの数値目標の設定がないと、実施したのかそうでないのかの区別がつかないことになる。

また、3段落目からの景観に関する部分について、「生活環境の質において重要な要素であると捉える。」で区切り、その後に「市内において空き地、空き家が増加の一方で、密集化、つまりたくさん人が住んでいるところにより人は集まっていく傾向があるため、できる限り密集傾向のある住宅街では、市所有の緑地や公園などの保全を行うことや」と付け加えていただき、「緑豊かな江別らしい景観づくり」の前に、「ゆとりの空間を確保し」と付け加えていただきたい。

文言の長い部分は削っていただいて構わないが、この景観の部分に関して、市とし

て保全できるスペースをいかに確保するかということである。公園のみにしてしまうと、既存の公園を充実させる意味合いになってしまうので、もう少しプラスして公園以外の市有地をどう利用するかという意味合いで、住宅が密集するようなスペースではなくて、ゆとりの空間として保全してもらいたいという内容をここに加えていただきたい。

押谷部会長：今、2点について提案があったが、数値目標は、具体的な数値ではなく、市として何らかの目標を示すということによろしいか。また、戦略テーマの「どんな状態にしたいのか」ということなので、「数値目標を設定する」という表現の方が良いのではないかと思う。

○ 「数値目標の設定を目指す」としてはどうか。

押谷部会長：では、あるべき姿を目指すので「数値目標の設定を目指す」という表現にしたい。

○ 数値目標の数値は、何に対する数値なのか。公共施設における自然エネルギーの割合等の数値目標のことを言っているのだろうか。

○ 前に話し合った内容では、個々の家庭への補助制度にも関わる話なので、公共施設だけでなく、江別市全体のことであったと思う。

押谷部会長：自然エネルギーの積極的な利用を促進するものだが、数値目標は発電量かもしれないし、発電戸数かもしれない。

○ 具体的なものではなく、何らかの数値目標を設定してほしいと記述しておけば、後は市の方で具体的に考えてもらえば良いのではないか。

○ 「どんな状態にしたいのか」では、数値目標を設定してほしいという記述にしておいて、「戦略テーマ実現への方策」の中で具体的な内容を提言すれば良いのではないか。

押谷部会長：では、今の数値目標の部分については、そのようにしたい。次の景観の部分でいただいたご意見についてはどうか。

○ マトリックスの意見の中に「街中自然の保全」という意見があり、これは公園や街路樹の整備だけでなく、市有地を含めた土地を住宅地や商業地という使い方をしないで、できるだけゆとりある空間として保全してほしいという意味も含めていると思う。密集している地区を、さらに密集するような地区にはしないでほしいという意味であるので、その旨を追加できればと思う。「どんな状態にしたいのか」の部分に入れるか、後ろの「戦略テーマ実現への方策」の部分に入れるかは問わない。

○ 入れた方が分かりやすいと思う。既存の緑地の保全を行うということか。

○ 緑地に限らず、空き地になっているところもどう使うかを考えるべきである。

○ 野幌幼稚園の横の空き地は、とても良い場所なので、有効に活用していただきたい。

○ 一度できた住宅街は、そこを公園にしたり空き地にしたりはできなくなってしまう。新しく整備するところは、統一感をもって整備できるが、既存のものは残しておいてほしいという意味合いである。

押谷部会長：景観の部分について、今の文章を入れたら良いという意見が多いので、入

れようと思うが、文章がやや長いので、最初の部分の「市内において空き地、空き家が増加の一方で、密集化、つまりたくさん人が住んでいるところにより人は集まってくる傾向があるため、」は削ることにしたい。「市所有の緑地や公園など」という表現の部分は、どうしたらよいか。

⇒ 事務局：緑地に関しては法で定義があり、緑地と公園はほとんど変更などが考えられない状況である。市有地は、ほぼ利用目的が決まっているので、例えば、外構工事の中で緑化をしていくというイメージであろうか。市の処分地を新たに緑地に指定するとなると厳しいところがある。

- 江別にスペース的なゆとりを確保したいとなると、市が一度処分した個人の土地での緑地化は不可能であると思う。
- 「市所有の」は外して構わないのではないか。「緑地や公園の整備を行う」とした方が良いのではないか。
- 個人の所有地は、保全のしようがないのではないか。

⇒ 事務局：市の未利用地については、積極的に売却を行なっている。大麻の小規模な土地開発において、緑地として公園をつくったが、その他に公共用地を事業主から土地でもらい、公園の隣などに空き地が1つある状態である。公園と同じく草刈だけはしているが、そのまま空いているので、売却する方向で考えている。既存の住宅街の中の空き地を荒らしたままにしておくのは良くないので、整備は必要である。野幌幼稚園の横の野幌高校の跡地は、鉄道高架事業の作業場所として貸しているところであり、今後具体的な計画を立てていくが、将来的には売却の予定である。「市所有の」という表現のままでは、市の売却予定地に対しても制限がかかってしまうことになる。

押谷部会長：市としても都市計画絡みで用途がきちんと決まっており難しいと思う。「市所有の」を外して、「できる限り密集傾向のある住宅街においても緑地の整備や公園・街路樹などの整備」としたら良いのではないか。その後に、「ゆとりの空間を確保し」という言葉を付け加えたい。また、最後の行で景観に関する文章がもう一度出てくるので、最後の一文は削除していただきたい。

—各委員了解—

押谷部会長：次に、「戦略テーマ実現への方策」では、マトリックスにあった意見がそのまま記載されているので、外すべき内容があればご意見をいただきたい。

- 短期のソフトのところは、「ポイ捨て禁止」とあるが、その後に括弧書きで、タバコだけでなく、ポイ捨ても含めて「禁止区域の指定」と追加してはどうか。
- ポイ捨ては、もともと全体的に禁止ではないか。
- ポイ捨ての禁止区域を指定すると、ポイ捨てして良い区域とそうでない区域に分かれるのではないか。
- タバコの路上喫煙の禁止条例やポイ捨て等の禁止に関する条例を、他の自治体に倣っ

て市に考えてもらうというのはいかがでしょうか。

- 路上で喫煙しながら歩く場合、タバコの火が子どもの目の位置にあるので、失明のおそれがあり大変危険である。

押谷部会長:「不法投棄やポイ捨て等を禁止する条例(例えば、喫煙禁止区域の設定など)」としてはどうか。

- 条例を制定すると、路上喫煙の禁止区域も当然入ってくると思うので、あえて付けなくても良いのではないかと。

- 「ポイ捨て」には、タバコの吸い殻を捨てるだけでなく、ガムや空き缶を捨てたりすることやごみの不法投棄も含んでいると思う。

- 最初は「ルール」の文言しかなかったが、条例制定になると禁止条項が盛り込まれ市全体としての承認が必要になる。条例制定の前にモラルを高める必要があり、条例が先に制定されていくということにはならないと思う。「ルールを定めていく」という表現で良いのではないかと。

- モラルというのは、個人によるものなので、条例を制定してルール化した方が良いのではないかと思う。

- ルールをたくさんつくっても、抜け道をいろいろと考えることになる。ルールをつくること自体が良い場合もあるしそうでない場合もある。

- この場では、そういうルールがあると良いのではないかと議論する程度であると思う。

- 『広報えべつ』で家電の不法投棄の禁止などについて知らせているのを見かけるが、ポイ捨てを含めて今後市で検討していただければ良いと思う。

押谷部会長:では、具体的な条例については入れられないが、「ごみの不法投棄やポイ捨て等の禁止や喫煙禁止区域の設定」としたいが、いかがであろうか。

—各委員了解—

- 中期のハードの1行目の「ジンギスカンやバーベキュー」という部分を「野外活動」にした方が、子どもから大人までの広い範囲となり良いと思う。

押谷部会長:では、そのように変更したい。その他にご意見はあるだろうか。

⇒ 事務局: 中期のソフトの部分にある「冷熱エネルギーの活用」の部分であるが、先日の市議会で同じような質問があり、雪は無料であるが倉庫等の設備投資に莫大な費用がかかるという課題と、数百トン単位の商品の集積ができるかどうかという課題がある。提言書に記載されるのは構わないが、農業者の間でも、そこまで必要ないという意見がある。研究は進んでいるが、初期投資に対して採算が合わない状況なので当面見合わせるという話が出ている。

- 今ある技術ではコストが高いので、市内の大学でコストが低くなるような研究をしてもらえないのだろうか。

⇒ 事務局: 北大が、弘前市と連携して技術開発を行なっているようである。

押谷部会長: 大学に関係する部分は、長期のソフトのところに入っており、大学連携のプログラムは、現在いろいろと実施されている。

○ 将来的に手法が変わる可能性があるので、「例えば、降雪量が多い江別の特徴を生かして、雪の冷熱エネルギーの活用の研究を進める。」という文章を長期のソフトのところへ移動して入れたら良いのではないか。

押谷部会長：では、そのように変更したいが、いかがだろうか。他になければ、次の戦略テーマへ移りたい。

—各委員了解—

3 戦略テーマ：「文化のあるまちづくり（音楽など）」の提言内容の検討

押谷部会長：戦略テーマ『文化のあるまちづくり（音楽など）』について、各委員からご意見を伺いたい。

○ 「どんな状態にしたいのか」の部分で、戦略テーマ『環境と共生し、エネルギーの地産地消を目指すまち』の表現と同じように、冒頭に「文化については、（１）文化施設の利便性向上、（２）文化的催し（PMF）の開催、（３）歴史文化の継承の３点に整理した。」という文章を入れると読みやすいと思う。

押谷部会長：では、戦略テーマ『環境と共生し、エネルギーの地産地消を目指すまち』の表現に合わせて、「どんな状態にしたいのか」の部分の最初に今の文章を入れることにしたいがよろしいか。

—各委員了解—

押谷部会長：次に、「戦略テーマ実現への方策」へ移るが、ご意見を伺いたい。

○ やきもの市などでお客様を誘致するという記述があるが、これは商業活動に関することであり、他の部会で話し合われていることなので、あえて入れる必要はないのではないか。

押谷部会長：では、短期のソフトにある「やきもの市と同時に…一体となって検討していく。」という部分を削除したい。

—各委員了解—

○ 短期のハートづくりの部分で、「芸術的なまちとする」とあるが、あまりにも漠然とし過ぎていないか。

○ 次の戦略テーマであるスポーツの部分とも関係するが、「市民が音楽に親しみ、参加するまちとする」というのはどうだろうか。これは、次の戦略テーマで「音楽」の部分で「スポーツ」に変えても良いのではないか。

—各委員了解—

押谷部会長：その他に意見はないだろうか。

○ 同じ短期のソフトの部分で、循環バス路線の新設に関する記述があるが、ここで必要だろうか。

押谷部会長：他の部会で話し合われていることなので、「埋蔵文化財センター…施設のPRの充実を行う。」という部分を削除したいと思う。

—各委員了解—

- 戦略テーマでは、音楽とスポーツということになっているが、絵画などの芸術的なものが江別にはないということになってしまわないか。
 - 音楽や絵画だけでなく、書道や短歌、俳句なども盛んである。音楽に特定して記述することは問題ではないか。
 - テーマの部分で「音楽など」というように、限定せずに表現しているので良いのではないかと思う。
 - 戦略テーマとして何かに集中して江別の顔をつくるという話だったので、様々な活動がある中で、何かに重点を置いて芸術のまちにしていくということで構わないのではないか。まちによっては、小学校から高校まで吹奏楽に力を入れているところもある。
 - 中期のハートづくりの部分の「文化を知ってもらうための施策を強化する」というのは、文章として分かりづらいのではないか。具体的なイメージが湧いてこない。
 - ここでいう「ハートづくり」というのは、心情面に訴えかける状況をつくり出し、そういう意識を市民に持ってもらうものだと思う。
 - 「施策」という言葉が分かりにくければ、「取り組み」としてはどうか。
 - そもそもハートづくりを短期、中期、長期に分ける意味があるのかどうか疑問である。短期的なハートづくりと長期的なハートづくりを区別したイメージが湧かない。
- 押谷部会長：**では、長期のハートづくりに書いてあることをそのまま中期のハートづくりの部分へ移動し、長期のハートづくりの部分は、「中期の取り組みの成果を検証しつつ、継続的に行なう。」という文章にしてはどうであろうか。
- この提言書の体裁に合わせるならば、空欄のままにしておくよりは良いのではないか。

－各委員了解－

4 戦略テーマ：「スポーツ振興による健康なまちづくり」の提言内容の検討

押谷部会長：次に、スポーツの振興に関する戦略テーマへ移り、ご意見を伺いたい。ハートづくりについては、マトリックスに意見がなかったので空欄になったままである。

- 「どんな状態にしたいのか」の部分の「子どもたちから高齢者まで」の表現がおかしいので、「子どもから高齢者まで」としてはどうか。

－各委員了解－

- 文化では、音楽で江別の顔づくりを行なってはどうかという話であったが、スポーツに関する議論の中で特別にこれはというものがなかったので、ハートづくりの部分については、文化で表現した文言を「スポーツ」に変えて入れてはどうか。
- スポーツについては、生きがいということもある。
- 人と人とのコミュニケーションということもある。
- ハートづくりの部分で「スポーツを通して人と人とのコミュニケーションを図り、仲間意識を高める。」というのをに入れてはどうか。
- 「スポーツを通して健康的な暮らしや生きがいを育む。」という文章はどうか。

- 「健康」や「生きがいを育む」は、高齢者寄りの感じがあるので、子どものハートづくりに関しては馴染まないと思う。先ほどの「人と人とのコミュニケーション」や「仲間づくり」という文言を入れた方が、バランスが良いと思う。
 - 短期のハートづくりで子どものことも考えて「スポーツを通して人と人とのコミュニケーションを図り、仲間意識を高める。」としたらどうか。
 - 長期のハートづくりのところを「スポーツを通して健康的な暮らしや生きがいを育む。」としたら良いのではないか。
 - スポーツでは、技術を高めることも大切である。
 - では、短期を踏まえて中期のところで「技術的な向上」に関する文章を入れたら良いのではないか。
 - 中期のソフトで「指導者を育成し」とあるのでちょうど良いのではないか。
- 押谷部会長：**まとめると、短期のハートづくりで「スポーツを通して人と人とのコミュニケーションを図り、仲間意識を高める。」、中期のハートづくりで「スポーツの技術的な向上を目指す。」とし、そして長期で「スポーツを通して健康的な暮らしや生きがいを育む。」となるが、いかがであろうか。

—各委員了解—

5 戦略テーマ：「効率的な行政サービスを推進するまちづくり」の提言内容の検討と全体のまとめ

押谷部会長：最後の戦略テーマである行政サービスに関する部分についてご意見を伺いたい。

- 長期のハートづくりの文章で、「市職員の意識改革」について記述してあり、その通りであると思うが、責任の所在を明確化することで、職員がどのように責任を持って仕事をしているかということをも市民の立場からも監視することができるし、職員も意識しながら業務に携わるので仕事にやりがいが出ると思う。
- 各部署にまたがって仕事をしている部分もあると思うが、担当部署を明確にすることは必要であると思う。
- 内部からの意識改革というのは、非常に難しいことであるので、外部からどうにかできないだろうか。
- 組織風土を改善するという意味も含めて、責任の所在の明確化を入れたいと思う。
- 短期のハードにある「窓口のワンストップ化」や「市民への行政サービスの充実」ができれば、最後のハートづくりの部分の文章はいらないのではないか。

押谷部会長：ハートづくりについて、短期、中期、長期と分かれおり、短期のハートづくりの部分に「窓口のワンストップ化」が入っているが、ハードの部分にも同じことが入っているので、ハートづくりにある文章は削除したいと思う。

- ハートづくりにある文章は、すべて削除して良いと思う。
- この戦略テーマの中では、短期のソフトに記述されていることが大事な部分である。

押谷部会長：様式の体裁がこのようにハード面やソフト面等になっているので、それぞれに意見を取りあえず当てはめているが、中期のハードにある公共用地の利用に関する記述も外したいと思うがいかがであろうか。

一各委員了解一

○ ふるさと納税の部分は、残していただきたい。これは、江別市との繋がりということでPRを含めて出された意見である。江別出身の有名人の方にPRしてもらえると良いと思う。

押谷部会長：では、「江別市ゆかりの著名人」という言葉を付け足しておくことにしたい。

一各委員了解一

押谷部会長：最後に、提言書の全体を見ていただいてご意見をいただきたい。「まちづくり政策提言」については、マトリックスにあった意見をそのまま記述してあるので、あえてここで修正する必要はないと思う。

○ 「部会長報告」の部分で、戦略テーマを4つにしたという記述があり、「戦略テーマ提言」も4つに分けてまとめてあるのだから、例えば、「まちづくり政策提言」の各項目に4種類の記号を付けて表示するなど、「まちづくり政策提言」の内容と「戦略テーマ提言」との関連づけを行なってほしい。

押谷部会長：他の部会との様式の整合性もあるので、この後実施される部会長の会議の中で、どのように表現したら良いかを検討させていただきたい。

○ 戦略テーマ『スポーツ振興による健康なまちづくり』の「戦略テーマ実現への方策」の長期のハードにある「市民ニーズ」というのは、どういう風にとらえたら良いか。

押谷部会長：例えば、体育館を建て替えてほしいなど、市民からのいろいろなニーズがあると思う。中期のハードの部分で施設整備に関して「市民の要望を調査する」とあるので、その結果でどのような施設にしたいかという具体的な市民ニーズがある程度分かるはずである。具体的な調査内容に関しては、ここに記述する必要はないと思う。他にご意見はあるだろうか。

○ 戦略テーマ『環境と共生し、エネルギーの地産地消を目指すまち』の「どんな状態にしたいのか」の中で、先ほど追加した文章中に「緑地の保整備や公園・街路樹などの整備」とあるが、「整備」という文言が2つ続くので、前者を「保全」に変えたらどうであろうか。

○ 「緑地」という言葉があるので「保全」としたら良いと思う。

押谷部会長：では、緑地については「保全」として、「緑地の保全や公園・街路樹などの整備」へ変更したい。

○ 戦略テーマ『効率的な行政サービスを推進するまちづくり』の「戦略テーマ実現への方策」の部分は少し様式が変更になる可能性があるのだろうか。

押谷部会長：様式については、短期、中期、長期ぐらいに最低限分けることとして、その中でハードやソフト等に分けるかどうかについては、部会長会議で調整してみ

たいと思う。その他にご意見はあるだろうか。

他に特に何もなければ、若干の字句修正は私の方にお任せいただき、以上で環境・文化部会を終了したい。今後は、部会長会議を行い、全体会議を実施することになる。

○ 全角文字、半角文字など提言書全体の文言修正は、部会長にご確認いただきたい。

－各委員了解－